

## 第2回 横浜市芸能センター第2期指定管理者審査委員会 議事録

- 1 日 時 平成22年7月21日（水） 午後2時50分～午後4時00分
- 2 場 所 横浜関内ビル3階 第一分室
- 3 出席者 岸川 善光 委員長、上杉 幸雄 委員、西田 由紀子 委員、米屋 尚子 委員
- 4 傍聴者 0名
- 5 議事内容

議 題	1 第一次提案書類の審査
委員意見等	<p>1 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>2 委員会の公開・非公開について 【審議結果】 ・ 提案書類の内容は財団独自の企画・運営の専門ノウハウが盛り込まれており、公表前であることから、会議は非公開とした。</p> <p>3 第一次提案書類の審査 【事務局説明】 第一次提案書類についての委員の指摘事項・アドバイス等について、事前にとりまとめた資料を事務局から説明。</p> <p>【委員意見】 提案課題の各項目に沿って、指摘事項・アドバイスについて議論を行い、意見をまとめた。</p> <p>◆「1 業務の基本方針」について ・ 寄席の公演日数追加の趣旨や公演時間の設定の理由を中心に、貸館と自主事業のバランスの取りかた、収支の見込みをどのような戦略において提案しているのか。</p> <p>◆「2 事業に関する提案」について ・ 情報提供事業においては、第一期で行ってきた情報の整理やデータ化の取り組みをどのように発展させ、利用者や実演者等の専門家にどのようなかたちで提供していくのか。 ・ 具体的な事業の考え方及び実施概要、実施する上での取り組み方の部分において、想定される事業はより具体的に提案を。特に、市民活動支援、地域へのアウトリーチ、教育普及事業などの公益的な活動については、第二期において重点的に取り組むとされているので、詳細な記述を。 ・ 横浜にぎわい座の活動を、社会問題解決や50年先を見据えて位置づけると述べているが、その考え方は何か。 ・</p> <p>◆「3 施設の運営、組織及び管理体制に関する提案」について ・ 市民協働は重要な視点であり、横浜にぎわい座としてどのように展開していくのか、また担当する職員の具体的な役割や育成方法等十分な検討を。</p> <p>◆「4 収支予算」について ・ 指定管理料の積算について、専門性のある人材の担保や育成、自主財源率向上のための経営努力など第一期の状況を参考に、多様な視点を持って行い、増減の理由がしっかり判るように提示を。</p> <p>◆ その他 ・ 顧客満足度調査だけでなく、施設の事業や運営など市の文化政策について多様な視点から調査を行うことを検討してはどうか。 ・ 文言や表現の整理を行った。</p>
審議結果	第一次提案書類についての指摘事項・アドバイスは、審査委員会での各委員からの意見をふまえ、委員長と調整し、財団宛に通知する。